



～ 業界標準のLinux技術者認定～ リナック なっとく! LinuC!



納得! LinuCを取得すべき3つの理由

① エンジニアの成長が早い!

最短でクラウド時代に活躍できるエンジニアに成長!
ITの現場で活躍する45人のプロフェッショナルが
現場で求められる必要な基礎技術を効率的に学ぶように
試験範囲を見直しているから、エンジニアの成長が早い!



② 差別化できる技術力で強い!

DX時代に必須の基礎技術力が身に付くから差別化でき強い!
オンプレのLinux運用管理エンジニア対象の認定から大きく進化。
Linux技術をベースに仮想マシン、コンテナ、OSSリテラシー、
アーキテクチャなどITエンジニアが基礎として学ぶべき領域を
カバーしているからDX時代に強い!



③ 信頼できるから現場で輝く!

有力企業が推奨し、信頼できる認定だから輝ける!
有力企業が認める優れた試験範囲、高品質な問題、高い
認定価値だから、認定取得を通してITの現場でしっかり輝ける!
多くの認定者の存在が会社の信用に繋がります。



私たち全員、LinuCを取得しました! 私たち全員、LinuCを取得しました! 私たち全員、LinuCを取得しました!



その他の事例は[こちら](#)↓



「クラウドDX時代にトップ技術者として活躍する人材を育成しています。」
「IT基礎技術の教育を基に、DXに対応できる技術者を作成します。」
「お客様の要望を叶えるエンジニアを一人でも多く育てたい。」

多くの企業の新人研修/技術研修で採用が進み、DX時代に必要な基礎力の
学び直しにも活用されています。

詳しくはこちら↓

LinuCはクラウド/DX時代に活躍しているエンジニアから
高い評価を受けているLinux技術者認定です





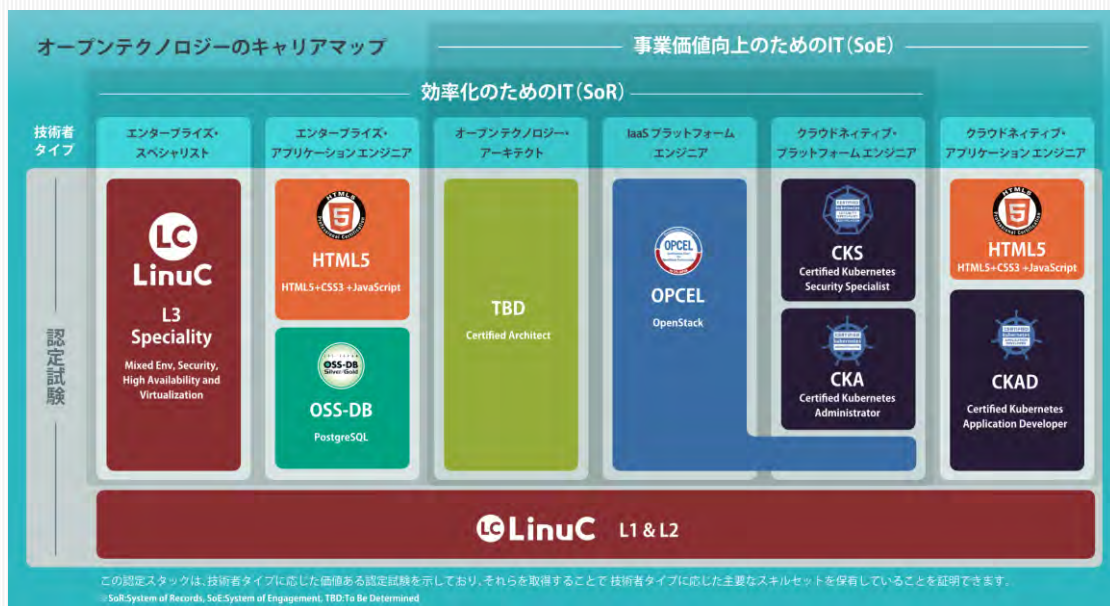
～ 業界標準のLinux技術者認定～ リナック なっとく! LinuC!



もっと活躍できるエンジニア/会社^{☆☆}になっとく!

ポイント LinuCならエンジニアとしての成長基盤が作れる!

LinuCはDX時代を支えるITエンジニアが成長するために重要な主要技術認定を示した『オープンテクノロジーのキャリアマップ』のベース認定。だから対応の幅も広がり、活躍できるエンジニアへの道が拓ける!



LinuCなら
会社全体の技術力の
底上げができ、長期的な
成長基盤を築ける!



経営者



エンジニア

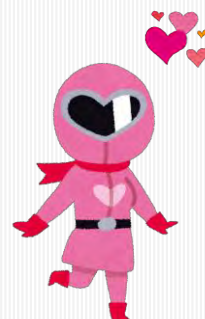
LinuCなら
様々な技術者タイプを
目指せ、自分の強みが
作れる!



プロジェクトリーダー

LinuCなら
DX時代に必要な基礎力
があるから新規領域にも
挑戦できる!

ポイント LinuCなら豊富な学習コンテンツが揃っているから安心!



無償の初心者向け教材や
Web/動画教材なども豊富!
詳しくは[こちら](#)↓



<お問い合わせ>



NPO法人/オープンテクノロジー技術者認定機関 LPI-Japan
事務局

TEL: 03-6205-7025

E-Mail: info@lpi.or.jp

URL: <https://lpi.or.jp>

身近なサービスからITの仕組みが学べる

ITベーシック学習教材



iTBasic

Training Materials

人材教育でこんな悩みはありませんか？

エンジニア以外への
IT教育では
何から教えればいいのか？



ITは専門用語が
多くて
よくわからない！



DXに向けて
社員や管理職の
ITスキルを高めたい！



ITベーシック3つの特徴

THREE
1
FEATURES

「スマホ」や「アプリ」「Wi-Fi」
など、身近な事例でITの仕組み
をわかりやすく解説

THREE
2
FEATURES

すぐ授業を始められるよう「本編
(読み物)」「問題 / 演習課題」「教
員用スライド」をセットでご用意

THREE
3
FEATURES

教員が参加するコミュニティの
中でノウハウが共有でき、内容
もアップデート



お申込み

<https://lpi.or.jp/itbasic/>

特定非営利活動法人エルピーアイジャパン

LPI-JAPAN

本編の構成

※「本編」は無償提供です。

第1章 スマホから見える世界の裏側にあるもの



スマホ・アプリ・SNSを通してITサービスがどのような仕組みのもとに動いているのかを解説しています。

第2章 クライアントアプリの世界



SNSアプリから、クライアントアプリとWEBアプリの特徴や開発方法の違いなどについて解説しています。

第3章 サーバーの世界



サーバーで使われるOSとしてLinuxを紹介し、サーバーの役割やその動かし方について解説しています。

第4章 サーバー用アプリの世界



クライアントアプリとの違いから始まり、サーバー用アプリの役割・必要な要素を伝えながら仕組みを解説しています。

第5章 ネットワークの世界



インターネットの仕組みのほかに、Wi-Fiや4G/5Gなどネットワーク種別ごとに仕組みを解説しています。

第6章 クラウドコンピューティングの世界



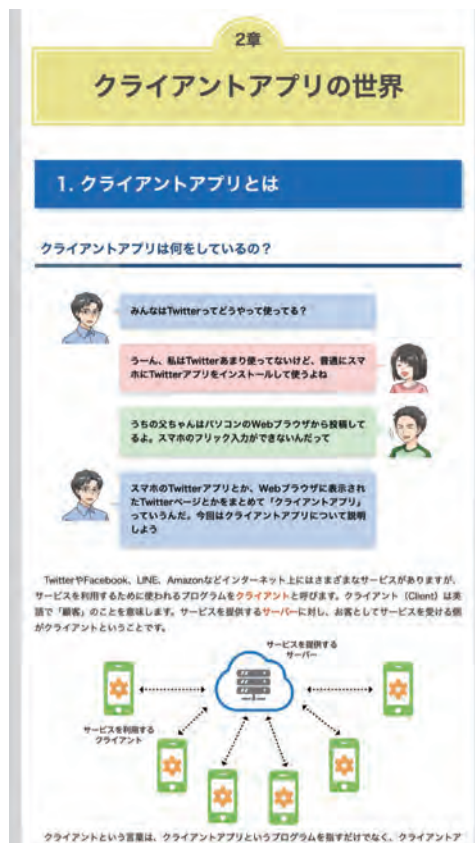
身近になったクラウドサービスの概念からメリット・デメリット、種類や特徴を解説しています。

終章 だからIT技術は君の未来につながっていく

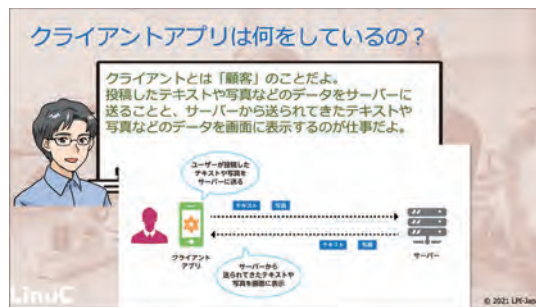
ITの仕組みを理解することの大切さや、ITと社会が切っても切り離せない関係にあることを解説しています。

コンテンツで紹介

本編



教員用スライド



確認問題 (第2章)

- Q1: 「クライアント」の意味として正しいものを選びなさい。
- 顧客
 - 端末
 - 給仕
 - 回線

答え 顧客
クライアント(Client)は、インターネット上の様々なサービスを利用する側のこと。顧客、すなわちお客さんという意味です。クライアント自体は概念的なもので、たとえばサービスを利用するパソコンやスマートフォンのことを「クライアント端末」と呼んだりもします。一方、サービスを提供する側を「給仕」(Serve)するという意味で「サーバー」(Server)と呼びます。

【演習課題】
自分が使っているクライアントのアプリケーションをいくつか挙げてみましょう。

- Q2: アプリケーションの役割ではないものを1つ選びなさい。
- 写真を加工する
 - ゲームで遊べる
 - スタンプを送信する
 - 通信を行う

答え 通信を行う
アプリケーションは、OSと対比して考えます。OSがコンピューターの基本的な動作を行うための「基本ソフト」であるのに対して、アプリケーションは様々な目的に応じた動作を行う「応用ソフト」です。通信を行うのは、様々なアプリが共通で利用する基本的な動作です。それ以外の写真の加工、ゲーム、メッセージの送信などは個々のアプリがそれぞれ行う動作です。

New

101/102

クラウド時代に強い資格、LinuC。
物理・仮想Linuxサーバーの
構築と運用なら、レベル1。

めまぐるしくIT化が進展する昨今、
ITエンジニアに求められるスキルも変化しています。
この度LinuCは現場の声を徹底的にヒアリング、
今の時代に対応できる技術者の必須科目として
大幅にバージョンアップいたしました。
新生LinuCレベル1 Version 10.0は、
対象を拡大し、クラウドシステムや各種アプリケーションの
開発に携わるエンジニアにも有効な認定へ。
現場で活躍できる即戦力の証です。

LinuC
リナック

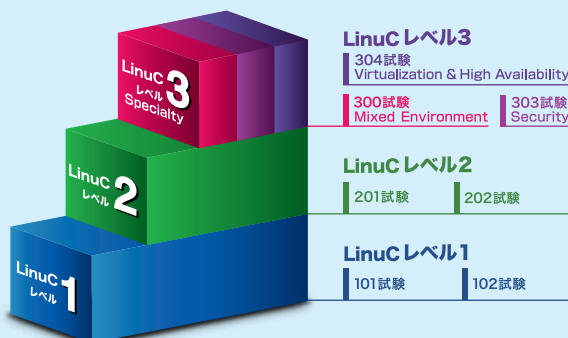
Version
10.0

Level

仮想環境を含むLinuxシステムの基本操作とシステム管理が行えるエンジニアとして認定されます。



1. 仮想マシンとコンテナを含むLinuxサーバーの構築と運用・管理ができる。
2. クラウドのセキュリティを理解し、安全に運用できる。
3. オープンソースの文化を理解し、業務に活用できる。



レベルについて —— 3段階のレベルで体系的な知識と、実用的な技術を習得

- LinuCにはレベル1、レベル2、レベル3の3つのレベルがあり、上位レベルの認定には下位レベルの認定が必須です。
- レベル1、レベル2の認定を取得するためには、レベル毎に2つの試験の合格が必須です。
- レベル3に認定されるためには、300試験、303試験、または304試験のいずれかひとつの試験に合格する必要があります。

エンジニアとしての“即戦力”の証明ならLinuC!

LinuC レベル1 出題範囲

LinuCレベル1に認定されるためには、2試験(101試験と102試験)を5年以内に合格する必要があります。
 ※) Version 10.0の出題範囲は全面的な改定を行い、すべての項目を見直しています。新たな項目にはNewと示しています。



101 試験

主題	内容
Linuxのインストールと仮想マシン・コンテナの利用 New	<ul style="list-style-type: none"> Linuxのインストール、起動、接続、切断と停止 仮想マシン・コンテナの概念と利用 ブートプロセスとsystemd プロセスの生成、監視、終了 デスクトップ環境の利用
ファイル・ディレクトリの操作と管理	<ul style="list-style-type: none"> ファイルの所有者とパーミッション 基本的なファイル管理の実行 ハードリンクとシンボリックリンク ファイルの配置と検索
GNUとUnixのコマンド	<ul style="list-style-type: none"> コマンドラインの操作 フィルタを使ったテキストストリームの処理 ストリーム、パイプ、リダイレクトの使用 正規表現を使用したテキストファイルの検索 エディタを使った基本的なファイル編集の実行
リポジトリとパッケージ管理	<ul style="list-style-type: none"> aptコマンドによるパッケージ管理 Debianパッケージ管理 yumコマンドによるパッケージ管理 RPMパッケージ管理
ハードウェア、ディスク、パーティション、ファイルシステム	<ul style="list-style-type: none"> ハードウェアの基礎知識と設定 ハードディスクのレイアウトとパーティション ファイルシステムの作成と管理、マウント

102 試験

主題	内容
シェルおよびスクリプト	<ul style="list-style-type: none"> シェル環境のカスタマイズ シェルスクリプト
ネットワークの基礎	<ul style="list-style-type: none"> インターネットプロトコルの基礎 基本的なネットワーク構成 基本的なネットワークの問題解決 クライアント側のDNS設定
システム管理	<ul style="list-style-type: none"> アカウント管理 ジョブスケジューリング ローカライゼーションと国際化
重要なシステムサービス	<ul style="list-style-type: none"> システム時刻の管理 システムのログ メール転送エージェント(MTA)の基本
セキュリティ New	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティ管理業務の実施 ホストのセキュリティ設定 暗号化によるデータの保護 クラウドセキュリティの基礎
オープンソースの文化 New	<ul style="list-style-type: none"> オープンソースの概念とライセンス オープンソースのコミュニティとエコシステム

出題範囲の詳細と最新情報は <https://linuc.org/linuc1/range/> で必ずご確認ください。

受験申込について

■ 受験の特徴

- 日本を含む世界中のテストセンター(*1)で受験可能です。
- 受験日時はお好みの好きな日時で予約可能(*1)です。
- 受験にはEDUCO-IDが必要です。

■ 初めて受験される方へ

- ① EDUCO-IDの新規取得ページでアカウント登録をし、EDUCO-IDを取得。
<https://linuc.org/exam/>
- ② 下記テストセンターのWebサイトまたはTELで受験申込。

■ 受験予約

受験を希望するテストセンターの検索や試験予約はピアソンVUEで行うことができます。

ピアソンVUEテストセンター

(*1) <https://www.pearsonvue.co.jp/Clients/LinuC.aspx>
 TEL: 0120-355-173 (受付時間: 祝祭日を除く月曜日～金曜日 9:00～18:00)

■ 受験料

15,000円(税別) / 1試験

お支払いは、クレジットカード、コンビニ払い、銀行振り込み

認定を取得すると

- 認定証
- 認定カード(クレジットカードサイズ)
- ログデータ(名刺等に印刷できます)



詳しい内容の説明をご希望の方は、下記までお問い合わせください。

オープンテクノロジープロフェッショナル認定機関
 特定非営利活動法人エルピーアイジャパン(LPI-Japan)

Tel: 03-3568-4482 E-Mail: info@lpi.or.jp

詳しくはLinuCのホームページへ

LinuC

検索

LinuCに関するお役立ち情報はこちらをチェック。



ホームページ
<https://linuc.org>



メールマガジン
<https://lpi.or.jp/mail/>



@lpi_japan



<https://www.facebook.com/lpijapan/>

New

201/202

クラウド時代の即戦力の証明、LinuC。
仮想マシン・コンテナを含むLinuxシステム、
ネットワークの設計・構築なら、レベル2。

LinuC
リナック

Version
10.0

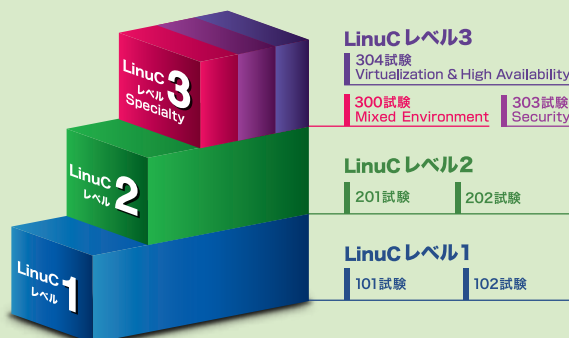
Level

多様な機器がIT化し、クラウドを活用したシステム連携による価値の増大と主要技術のオープンソース化が進展しています。
また一方でシステムの多様化も進んでいます。
新生LinuCレベル2 Version 10.0は、クラウド時代の複数のLinuxシステムが連携した複雑なシステムやネットワークをはじめ、サービスの設計、構築、高度な運用・管理、問題解決ができる上級エンジニアとして認定します。

仮想環境を含むLinuxのシステム設計、ネットワーク構築において、アーキテクチャに基づいた設計、導入、保守、問題解決ができるエンジニアとして認定されます。



1. Linuxシステムの設計、構築、監視、トラブルシューティングができる。
2. 仮想マシンやコンテナの仕組みを理解し、その管理と運用ができる。
3. セキュリティとシステムアーキテクチャの基本を理解し、サービスの設計、構築、運用・管理ができる。



レベルについて —— 3段階のレベルで体系的な知識と、実用的な技術を習得

- LinuCにはレベル1、レベル2、レベル3の3つのレベルがあり、上位レベルの認定には下位レベルの認定が必須です。
- レベル1、レベル2の認定を取得するためには、レベル毎に2つの試験の合格が必須です。
- レベル3に認定されるためには、300試験、303試験、または304試験のいずれかひとつの試験に合格する必要があります。

エンジニアとしての“即戦力”の証明ならLinuC!

LinuC レベル2 出題範囲



LinuCレベル2に認定されるためには、有意なLinuCレベル1を保有し、2試験（201試験と202試験）を5年以内に合格する必要があります。

※) Version 10.0の出題範囲は全面的な改定を行い、すべての項目を見直しています。新たな項目にはNewと示しています。

201試験

主題	内容
システムの起動とLinuxカーネル	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブートプロセスとGRUB ・ システム起動のカスタマイズ ・ Linuxカーネルの構成要素 ・ Linuxカーネルのコンパイル ・ Linuxカーネル実行時における管理とトラブルシューティング
ファイルシステムとストレージ管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルシステムの設定とマウント ・ ファイルシステムの管理 ・ 論理ボリュームマネージャの設定と管理
ネットワーク構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的なネットワーク構成 ・ 高度なネットワーク構成 ・ ネットワークの問題解決
システムの保守と運用管理	<p><i>New</i></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ makeによるソースコードからのビルドとインストール ・ バックアップとリストア ・ ユーザへの通知 ・ リソース使用状況の把握 ・ 死活監視、リソース監視、運用監視ツール ・ システム構成ツール
仮想化サーバー	<p><i>New</i></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仮想マシンの仕組みとKVM ・ 仮想マシンの作成と管理
コンテナ	<p><i>New</i></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンテナの仕組み ・ Dockerコンテナとコンテナイメージの管理

202試験

主題	内容
ネットワーククライアント管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ DHCPサーバーの設定と管理 ・ PAM認証 ・ LDAPクライアントの利用方法 ・ OpenLDAPサーバーの設定
ドメインネームサーバー	<ul style="list-style-type: none"> ・ BINDの設定と管理 ・ ゾーン情報の管理 ・ セキュアなDNSサーバーの実現
HTTPサーバーとプロキシサーバー	<ul style="list-style-type: none"> ・ Apache HTTP サーバーの設定と管理 ・ OpenSSLとHTTPSの設定 ・ nginxの設定と管理 ・ Squidの設定と管理
電子メールサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ Postfixの設定と管理 ・ Dovecotの設定と管理
ファイル共有サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ Sambaの設定と管理 ・ NFSサーバーの設定と管理
システムのセキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ iptablesやfirewalldによるパケットフィルタリング ・ OpenSSHサーバーの設定と管理 ・ OpenVPNの設定と管理 ・ セキュリティ業務
システムアーキテクチャ	<p><i>New</i></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高可用システムの実現方式 ・ キャパシティプランニングとスケーラビリティの確保 ・ クラウドサービス上のシステム構成 ・ 典型的なシステムアーキテクチャ

出題範囲の詳細と最新情報は <https://linuc.org/linuc2/range/> で必ずご確認ください。

受験申込について

■ 受験の特徴

- 日本を含む世界中のテストセンター (*1) で受験可能です。
- 受験日時をご自分の好きな日時で予約可能 (*1) です。
- 受験にはEDUCO-IDが必要です。

■ 初めて受験される方へ

- ① EDUCO-IDの新規取得ページでアカウント登録をし、EDUCO-IDを取得。
<https://linuc.org/exam/>
- ② 下記テストセンターのWebサイトまたはTELで受験申込。

■ 受験予約

受験を希望するテストセンターの検索や試験予約はピアソンVUEで行うことができます。

ピアソンVUEテストセンター

(*1) <https://www.pearsonvue.co.jp/Clients/LinuC.aspx>
TEL: 0120-355-173 (受付時間: 祝祭日を除く月曜日～金曜日 9:00～18:00)

■ 受験料

15,000円(税別) / 1試験

お支払いは、クレジットカード、コンビニ払い、銀行振り込み

認定を取得すると

- 認定証
- 認定カード (クレジットカードサイズ)
- ログデータ (名刺等に印刷できます)



詳しい内容の説明をご希望の方は、下記までお問い合わせください。

オープンテクノロジープロフェッショナル認定機関
特定非営利活動法人エルピーアイジャパン(LPI-Japan)

Tel: 03-3568-4482 E-Mail: info@lpi.or.jp

詳しくはLinuCのホームページへ

LinuC に関するお役立ち情報はこちらをチェック。



ホームページ
<https://linuc.org>



メールマガジン
<https://lpi.or.jp/mail/>



@lpi_japan



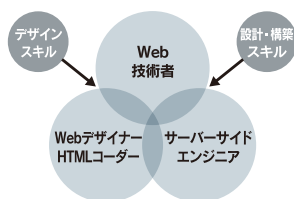
<https://www.facebook.com/lpijapan/>



HTML5 プロフェッショナル 認定試験

世の中はHTML5時代に突入!

HTML5に関するスキルと知識を、公平かつ厳正に中立的な立場で認定する、WebクリエイターとITエンジニアのための認定資格です。多くの企業が推進



する次世代Web言語の認定資格として、Webプロフェッショナルのスキルの向上に役立ちます。また『技術力を担保する客観的基準』として活用できます。

“頼られる”ための“頼れる”資格

Webデザイナーが取得したい資格 **No.1**

(出典：Web Designing 2013年12月号 [Webデザイナー白書 2013-2014])



「HTML5 プロフェッショナル認定試験」

HTML5プロフェッショナル認定資格は、Web開発プロジェクトやWebサービスに関わるあらゆるプロフェッショナルにとって必要なHTML5のスキルと知識を認定します。



試験概要

マルチデバイスに対応したWebコンテンツをHTML5を使って企画・制作ができる。

Webデザイナー	HTMLコーダー
フロントエンドプログラマー	スマートフォンアプリ開発者
Webシステム開発者	サーバーサイドエンジニア
Webディレクター	グラフィックデザイナー

資格取得のメリット

この資格の認定者は、下記のスキルと知識を持つWebプロフェッショナルであることを証明できます。

- HTML5を使ってWebコンテンツを作成することができる。
- ユーザー体験を考慮したWebコンテンツを設計・制作できる。
- スマートフォンや組み込み機器など、ブラウザが利用可能な様々なデバイスに対応したコンテンツを制作できる。
- HTML5で何ができるか、どういった技術を使うべきかの広範囲の基礎知識を有する。

出題構成

主題	項目
Webの基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> ●HTTP、HTTPSプロトコル ●HTMLの書式 ●Web関連技術の概要
CSS	<ul style="list-style-type: none"> ●スタイルシートの基本 ●CSSデザイン ●カスケード(優先順位)
要素	<ul style="list-style-type: none"> ●要素と属性の意味(セマンティクス) ●メディア要素 ●インタラクティブ要素
レスポンスWebデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ●マルチデバイス対応ページの作成 ●メディアクエリ ●スマートフォンサイト最適化
APIの基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> ●マルチデバイス・グラフィックス系 API概要 ●デバイスアクセス API概要 ●オフライン・ストレージ系 API概要 ●通信系 API概要



試験概要

最新のAPIを駆使したWebアプリケーションを設計・開発できる。

Webデザイナー	HTMLコーダー
フロントエンドプログラマー	スマートフォンアプリ開発者
Webシステム開発者	サーバーサイドエンジニア
Webディレクター	

資格取得のメリット

この資格の認定者は、下記のスキルと知識を持つWebプロフェッショナルであることを証明できます。

- 動的に動作させて高いユーザビリティを実現するリッチユーザーインターフェイスアプリケーションを作成することができる。
- マルチデバイスに対応し高パフォーマンスで動作する動的コンテンツを作成することができる。
- システム間連携を行いリアルタイムな情報を提供するアプリケーションを開発することができる。
- スマートフォンなどでネイティブアプリに近い機能を組み込んだ先端のWebアプリケーションを開発することができる。
- APIのセキュリティモデルを理解したうえで開発することができる。

出題構成

主題
JavaScript
Webブラウザにおける JavaScript API
グラフィックス・アニメーション
マルチメディア
ストレージ
通信
デバイスアクセス
パフォーマンスとオフライン
セキュリティモデル

受験申込について

■初めて受験される方へ

- ① LPI-IDの新規取得ページでアカウント登録をし、LPI-IDを取得。
<http://www.lpi.or.jp/examination/flow.shtml>
- ② 下記のテストセンターのウェブサイトまたは電話で受験申込。受験日は随時。

■受験の申込については、テストセンターにお問い合わせください。

ピアソン VUE テストセンター <https://pearsonvue.co.jp/>
TEL : 0120-355-173
(受付時間：祝日・年末年始休業日を除く月曜日～金曜日 9:00～18:00)

■団体受験：団体受験をご希望の際は、LPI-Japan 事務局までお問い合わせください。

■受験料：15,000円(税別)/1試験

HTML5 プロフェッショナル認定取得者の特典



1. 認定証授与
2. 認定カード授与
3. HTML5 認定取得者用ロゴ
(各名刺等に使用することができます。)
4. HTML5 コミュニティへの参加

出題範囲の詳細と最新情報は <http://html5exam.jp/> で必ずご確認ください。

特定非営利活動法人 / ITプロフェッショナル認定機関

エルピーアイジャパン (LPI-Japan)

<http://html5exam.jp/>

Tel : 03-3568-4482 E-Mail : info@lpi.or.jp

<https://twitter.com/HTML5Cert>

<https://facebook.com/html5exam>